■ ライフスタイル

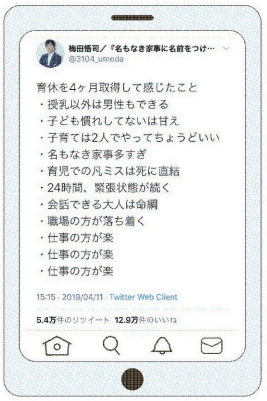
# Colorful
## ―カラフル―

「やってもやっても終わらない名もなき家事に名前をつけたらその多さに驚いた。」の著者　梅田悟司さん

# 家事を頑張る大変さ、尊さ、素晴らしさを伝えたい！

家で過ごす時間が長い分、片付けてもすぐに散らかったり、ごはんをずっと作っているような感覚に陥ったり……。家事に追われる日々ではないでしょうか。今回は『やってもやっても終わらない名もなき家事に名前をつけたらその多さに驚いた。』の著者であり、コピーライターの梅田悟司さんに書籍の発刊に至った経緯と、家事を頑張る人へのエールを寄せてもらいました。

to be continued tomorrow




### ■なぜ〝名もなき家事〟に注目を？

僕は、産後の妻をケアするために育児休業を4カ月ほど取得して、家事と育児に専念しました。その間に感じたことをツイート（左記参照）したら累計1200万PVに。「よく言葉にしてくれた！」「本当にそうなんです」「うなずき過ぎて、首がもげると思いました」など、数多くの共感の声を頂きました。

一方で、「〈仕事に対する〉責任感が希薄だ」「仕事をなめているのか」など、男性からの否定的な意見もありましたが、傷つきましたが、こうした意見も分かります。

どちらかが間違っているわけではなくて、どちらも正しいと思う。

ただ、家事や育児のしんどさはあまり言語化されてこなかったし、さらに言えば、口にしてはいけない空気が存在しています。

そこで考えたのが〝名もなき家事〟に名前をつけて「見える化」することで、家事を頑張る大変さ、尊さ、素晴らしさをもっと世の中に伝えていけるのではないか、ということでした。

### ■専業主婦（もしくは主夫）やパート勤めだと、自分が家事をするのは当然…と思い、褒めるのは難しいです。

お金を稼いでいるから偉い、稼いでいないから偉くないという基準を捨てて考えてみませんか。

お金という基準が取り払われた時、家事や仕事は〝誰の、何に、役立っているのか〟という軸しか残らない。仕事でクライアントにいい提案をすることも、家族のために生活を整えることも、同じレベルですごいことです。

それに社会といっても、一つ一つの家庭から成り立っている。家族の健康のために献立を考えたり、言うことを聞かない子どもに根気強く付き合ったり……。僕自身、仕事を頑張れるのは妻が家庭のことをやってくれているから。感謝は尽きません。ぜひ、自分の頑張りを認めてあげてください！

### ■家事シェアで大切なことは？

家事シェアというと、分担する「量」の話になりがちですが、それだけでは解決は困難になります。

一番大切なことは、家事を担っている相手に寄り添う気持ちや、〝分担してあげている〟という姿勢、つまり「質」ではないでしょうか。

質を上げるには、まず相手の話を聞くことから。僕はよくコンビニのコーヒーを2人分買って帰り、一緒に飲みながら妻の話を聞きます。

家事や育児に対する愚痴や不満が出ることもありますが、妻の本音を聞けるので、僕にとって大切な時間です。カップを洗う家事も生まれませんしね。

今は家で過ごす時間が長い分、家事を夫婦や家族で分担できる絶好の機会でもあります。家事をシェアして、おうち時間を楽しんでほしいです。

### ■反響が大きかった名もなき家事は？

タッパーのふたと容器を正しく組み合わせる「タッパー神経衰弱」や、多くの反響を頂きました。あと、献立の希望を聞いたのに返事が来ないままレジに並んだ瞬間、予想外の提案をされて売り場に戻る「レジ2回並び」や、お風呂の排水口に強めに水を当ててそっとふたを閉じる「ぬめりだけ取り」も。

名もなき家事はその名の通り、名前がないので、行ったり、評価されたりすることも、感謝されることもあまりありません。

しかも、家事には終わりがない。誰かに褒められることもない。もはや、ないないづくし。

妻がやってくれていたのかと思うと、圧倒的リスペクトでした。だから、家事を頑張っている人に伝えたいのです。

「その頑張り、当たり前じゃないですよ！　もっと自分を褒めていい」って。

「名もなき家事」は、大和ハウス工業株式会社とＮＰＯ法人tadaima！によって提唱された概念で、「炊事」「洗濯」「掃除」とは違い、はっきりとした名前がつかない家事のこと。例えば、「食べ残しを冷蔵庫にしまう」「ごみ袋をセットする」「トイレットペーパーを補充する」など。名前はついていないけれど、誰かがやらないといけない、大切な家事である。

レジ2回並び
今日のデザート
何がいい…
返事がないから
何でもいいか
タイミング最悪かっ
チンジャオロースたんたん
ピロロン
聞いたわ私の前の悪いお客で手間かかるし
ホホで手間かかるし
ホホで手間かかるし
ホホで